

『議員定数削減について!』

我孫子市議会の議員定数は現在30名です。十一月に予定されている市議選では2名減の28名で実施されることが決まっています。しかし市議会議員として活動してみてもやはり多すぎる!と強く感じます。本当に政策議論を深めていくためにはできれば半減程度が望ましいと思います。議員自らが条例提出による削減努力をすることはもちろん大切ですが、議員定数を市民に決めてもらう仕組みづくり(議員定数決定委員会等)を自治基本条例で制定する形で推し進めていくことが重要であると思います。\*自らの身分を危うくする削減を大幅に、即実現するには市民主導での仕組みづくりが不可欠です。

『地域自治区の導入で地域内分権を!』

政策の計画・実施や予算措置に関して、地域のことは地域で決め、地域で実施・評価することが重要です。中央から地方への分権に加え、市町村内での分権時代の到来です。

『団塊の世代キャリア活用で行革推進』

これから団塊の世代が定年を迎えます。この世代の方々は企業戦士として日本経済の成長を力強く支え、様々なノウハウを蓄積した超人といっても過言ではありません。これらの方々に公共サービス提供者として活躍してもらうことが重要です。例えば監査委員として或いは外部監査制度導入時に能力を活用していただくのもひとつの考え方です。

まことの『行政豆知識』

知事や市長村長には一期、4年毎に数千万円の退職金が支払われています。多選の首長になると億単位の退職金となり、サラリーマンの方々が一生働いて得る数倍の退職金をわずか4年で稼ぐ、という市民感覚からかけ離れた支給が行われています。おかしいと思いませんか? (知事退職金例)

- ・ 東京都 4524万
- ・ 京都府 4341万
- ・ 千葉県 4000万
- ・ 埼玉県 4089万

4年に一度この額の退職金支給ですよ! 怒り爆発です。